

002

哲学初歩 (40)

哲学と私 (2)

講座内容

前回の「哲学と私」の予定は、私の不手際で予定を終えることができませんでした。そこで、続編です。私にとってのカントから、老荘思想、仏教などの東洋思想にも触れたいと思います。いつものように質問は大歓迎です。

期 間	9月25日～12月18日	受講料	8,000円
曜 日	木曜日	定 員	40名 ※最少催行人数 10名
時 間	14:00～16:00	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全4回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が配布資料を用意します。		
備 考	●この講座は9月17日(水)までに中止の連絡が無ければ開催となります。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	9月25日 (木)	カントに学んだこと カントといえば「コペルニクスの展回」が有名ですが、「目的なき目的論」も劣らず有効な議論だと思います。
2	10月23日 (木)	荘子の思想 孔子を笑い飛ばす荘子の規模の大きさは、近現代哲学をも笑い飛ばす迫力があります。
3	11月27日 (木)	倫理の優位と宗教 倫理と事実を重視する今日の哲学が忘れてるのは倫理ではないか、と思います。
4	12月18日 (木)	言語の哲学 「何って何?」、「言葉とは何か?」、「自分以外は人間か?」。これらは一人の小学生が出した問題です。

講師紹介



杉田 正樹(すぎた まさき)

本学名誉教授

このところずっと、言語の哲学に強い関心をもっています。哲学の営みも、広く人間の営みも、言語なしでは在り得ません。沈黙することすら、言語があって始めて成り立ちうるのです。言語の観点から三木の哲学に挑戦してみたいと思います。